

# 運動部活動の在り方

太成学院大学 長谷川ゼミ Aチーム

○池田 隆太 皆見 亮輔

栄田 悟 宮下 温

# 目次

- はじめに
- 部活動の位置づけ
- 課題
- 提言
- 提言(具体案)
- 参考文献

はじめに

## 運動部活動に生じる問題

教員の体罰

教員の過重負担

生徒の運動部活動過熱によるバーンアウト

保護者による無謀な要求

- 
- 
-





はじめに

## 保護者の無謀な要求

【部活動顧問の悲痛な叫び】

「また保護者に『練習増やせ』と言われた」

(『教育』2017年5月号 特集1 部活動の深い悩みより)

はじめに

## 生徒の運動部活動過熱によるバーンアウト

### 【生徒の苦しみ】

「部活動が過熱し、練習を休めない」

「勉強に割く時間がない」

(内田良(2017)『ブラック部活動ー子供と先生の苦しみに向き合う』東洋館出版社)

はじめに

## 平成29年 中学校学習指導要領(部活動)

新たに

「持続可能な運営体制が  
整えられるようにする」が追記された。

はじめに

# チーム学校の実現

部活動の指導、顧問、単独での引率等を行うことができる職員として部活動指導員を導入

チームとしての学校... (答申) 概要

学校において子供が成長... より厚みのある経験を積む

1. 「チ...

(2) 「チ...

学校と家庭、地域... ことができるようすることが重要である。また、学校...

(3) 国立学校や私立学校における...

国立学校、私立学校については、その位置付けや校種の違いなどに配慮して、各学校の取組に対する必要な支援を行うことが重要である。

はじめに

# 中学校部員から見た運動部活動

中学校運動部員		(%)
楽しい		83.4
	とても楽しい	43.1
	どちらかという楽しい	40.3
苦しい		16.6
	どちらかという苦しい	12.2
	とても苦しい	4.5

文部科学省(2009)より作成

はじめに

# 運動部顧問から見た運動部活動

中学校運動部顧問		(%)
やりがいを感じる		88.4
	子供のために重要な活動であり大いにやりがいを感じる	41.4
	趣味の延長として考え楽しんでいる	12.0
	要請により引き受けたがある程度はやりがいを感じる	35.0
やりがいを感じない		11.6
	仕方なく引き受けたのであまりやりがいを感じない	9.3
	いやいややっている	2.4

文部科学省(2009)より作成

はじめに

# 保護者から見た運動部活動

中学校運動部員の保護者		(%)
満足している		87.4
	大いに満足している	16.4
	ある程度満足している	55.3
	少しは満足している	15.6
苦しい		12.7
	あまり満足していない	11.4
	全く不満である	1.3

文部科学省(2009)より作成

はじめに

運動部活動  
に  
生じる問題

運動部活動  
への  
肯定的評価

新たな方法は簡単に受け入れられるのか??

肯定的評価の高さの一方で、  
なぜ問題が生じるのか、分析が必要！！

## 部活動の位置づけ

平成29年 中学校学習指導要領(部活動)

「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際、学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする」

# 部活動の位置づけ

自主的・自発的な参加



達成目標

- ・スポーツや文化・科学に親しませる。
- ・学習意欲の向上
- ・責任感、連帯感の涵養
- ・教育課程に関連した教育成果

# 部活動の位置づけ



# 部活動の位置づけ

教員の思い

生徒の思い

自主的・自発的な参加

達成目標

- ・スポーツや文化・科学に親しませる。
- ・学習意欲の向上
- ・責任感、連帯感の涵養
- ・教育課程に関連した教育成果

保護者の思い

# 部活動の位置づけ

自主的・自発的な参加

達成目標

- ・スポーツや文化・科学に親しませる。
- ・学習意欲の向上
- ・責任感、連帯感の涵養
- ・教育課程に関連した教育成果

教員の思い

生徒の思い

保護者の思い

自由度の高

ずれが生じる！

成果の  
多様性

## 課題

# 生徒と教師の思いのずれ

- 楽しく部活をやりたい
- 競技性を高めたい
- 休日を増やしてほしい
- 休日でも部活をしたい

生徒

- 授業の準備時間がほしい
- 仲間を作ってほしい
- 試合に勝たせたい
- 卒業しても続けてほしい
- 一生に残る思い出を作ってほしい

教師

## 課題

# 保護者と教師の思いのずれ

- 指導力を上げてほしい
- 競技力向上に力をいれてほしい
- 子供を試合に出してほしい
- 勉強に支障がないようにしてほしい

保護者

- 授業の準備時間がほしい
- 仲間を作ってほしい
- 試合に勝たせたい
- 卒業しても続けてほしい
- 一生に残る思い出を作ってほしい

教師

## 課題

# 生徒と生徒の間の思いのずれ

- 楽しく部活をやりたい
- 休日を増やしてほしい
- 自由にやりたい

生徒

- 競技性を高めたい
- 休日も部活をしたい
- 指導を受けたい

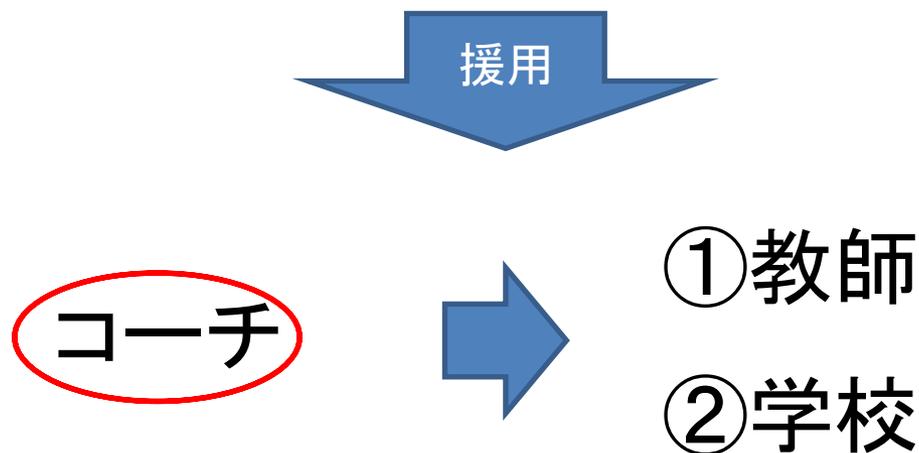
生徒

## 運動部活動改革のポイント

- 運動部活動に関わる人たちの思いのずれを調整し、解決することであり、それができる人を設定することが重要である

## 提言

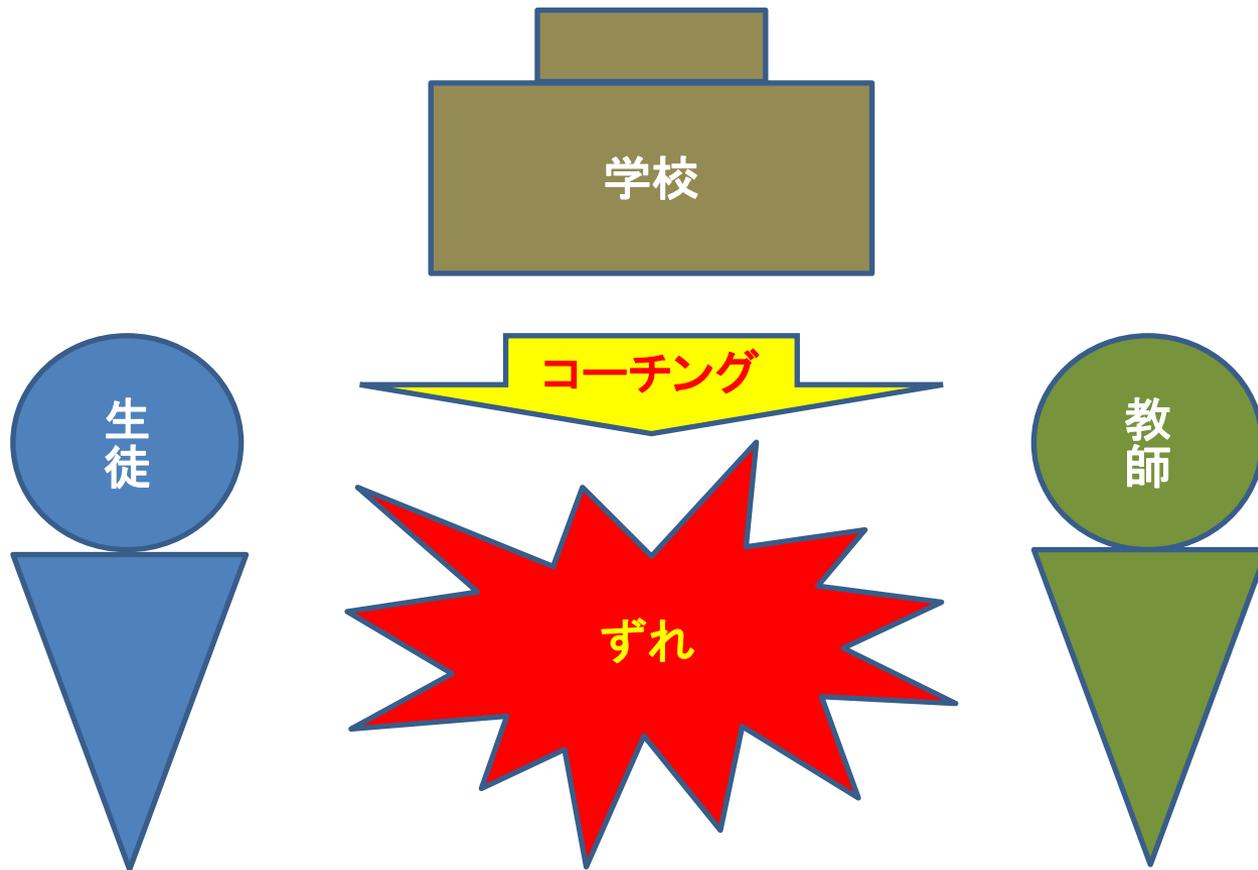
コーチング（スポーツ組織における**コーチ**の権限を意図的に配分しながら、成員間の協力関係を構築して目標の達成をリードしていくこと 東海林（2013））



☆ 運動部活動で生じた課題に対し、誰が、どのようにコーチングを行うかを明確にする。

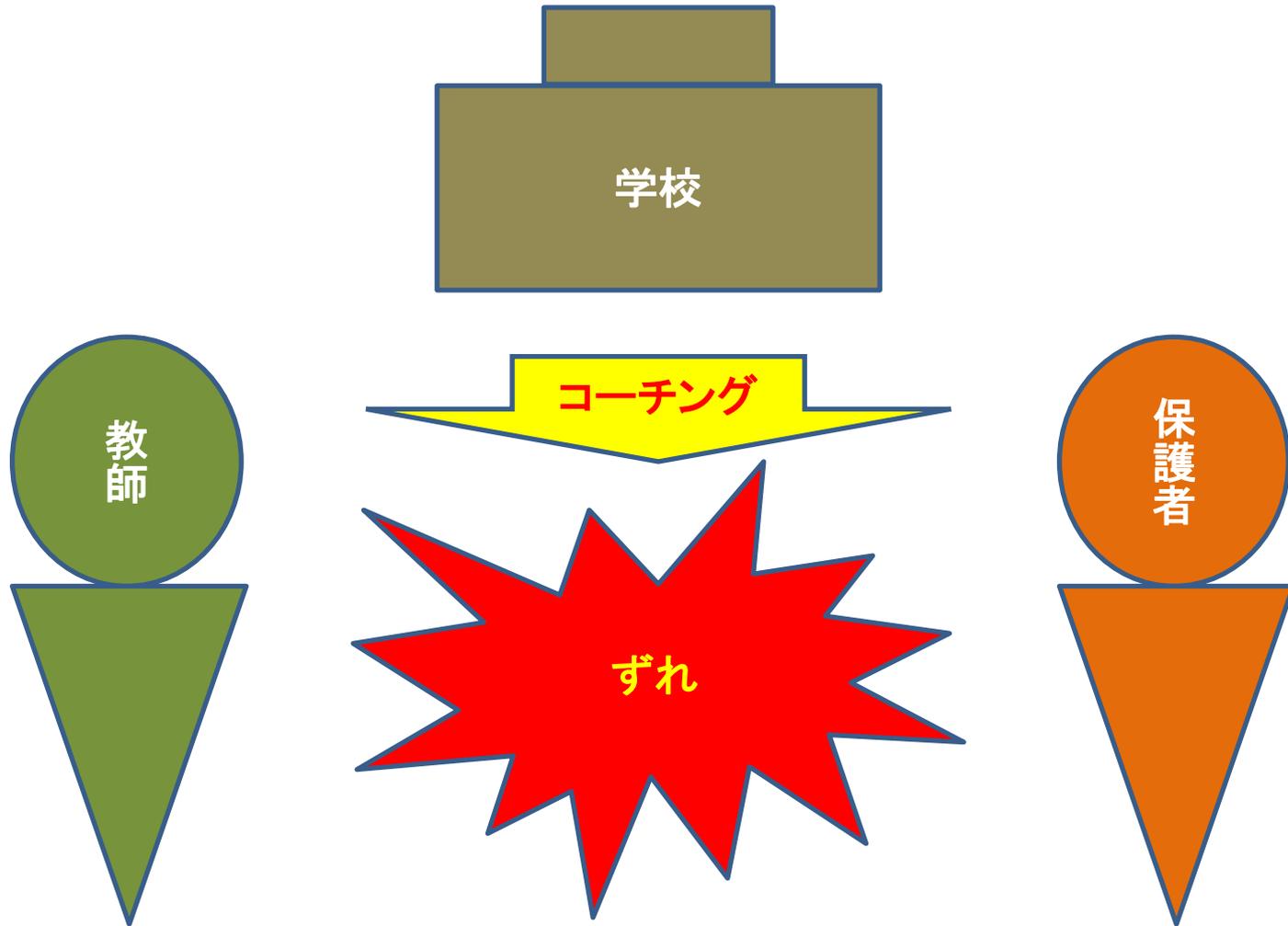
# 提言

## 例1) 生徒と教師の思いのずれ



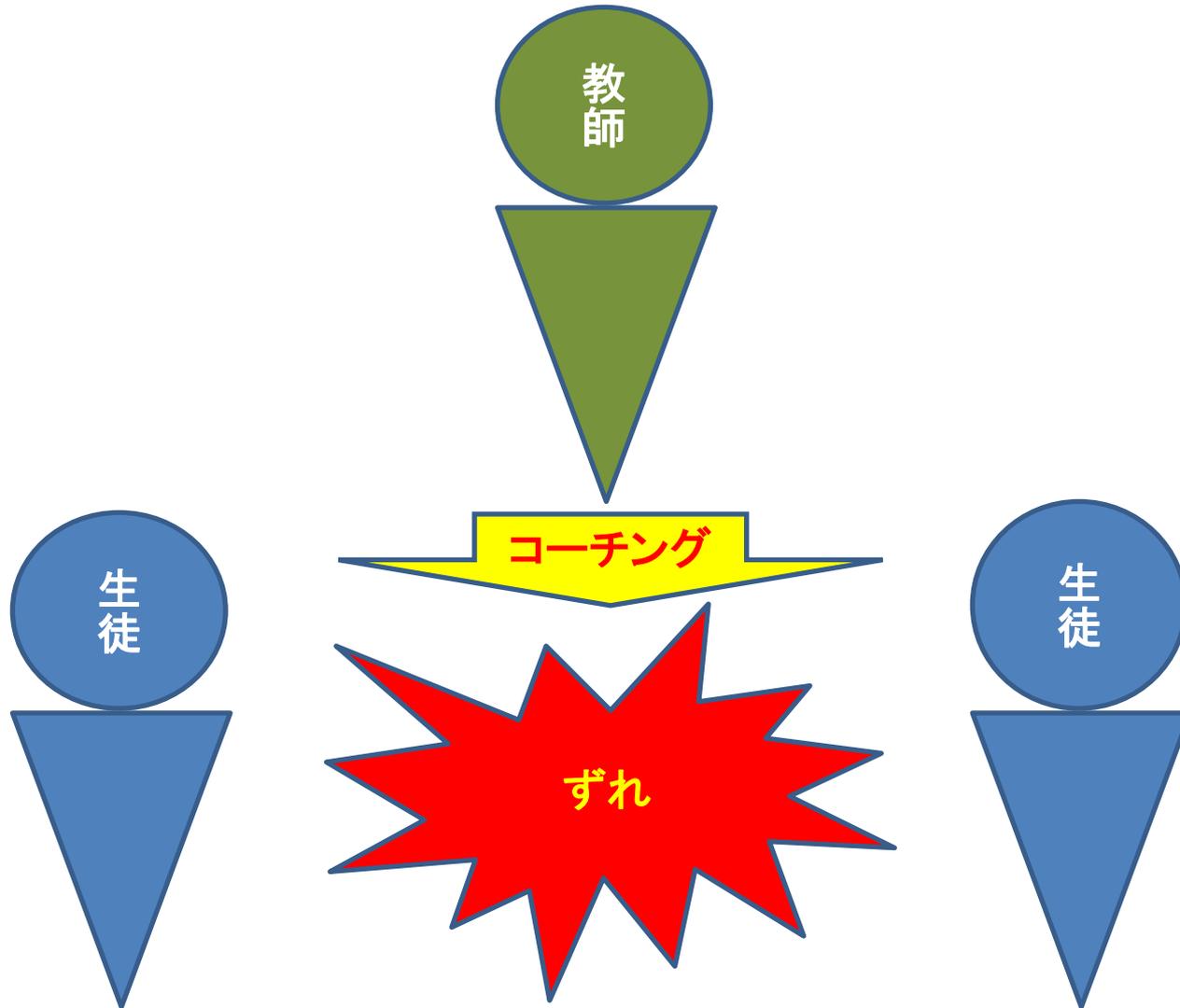
# 提言

## 例2) 教師と保護者の思いのずれ

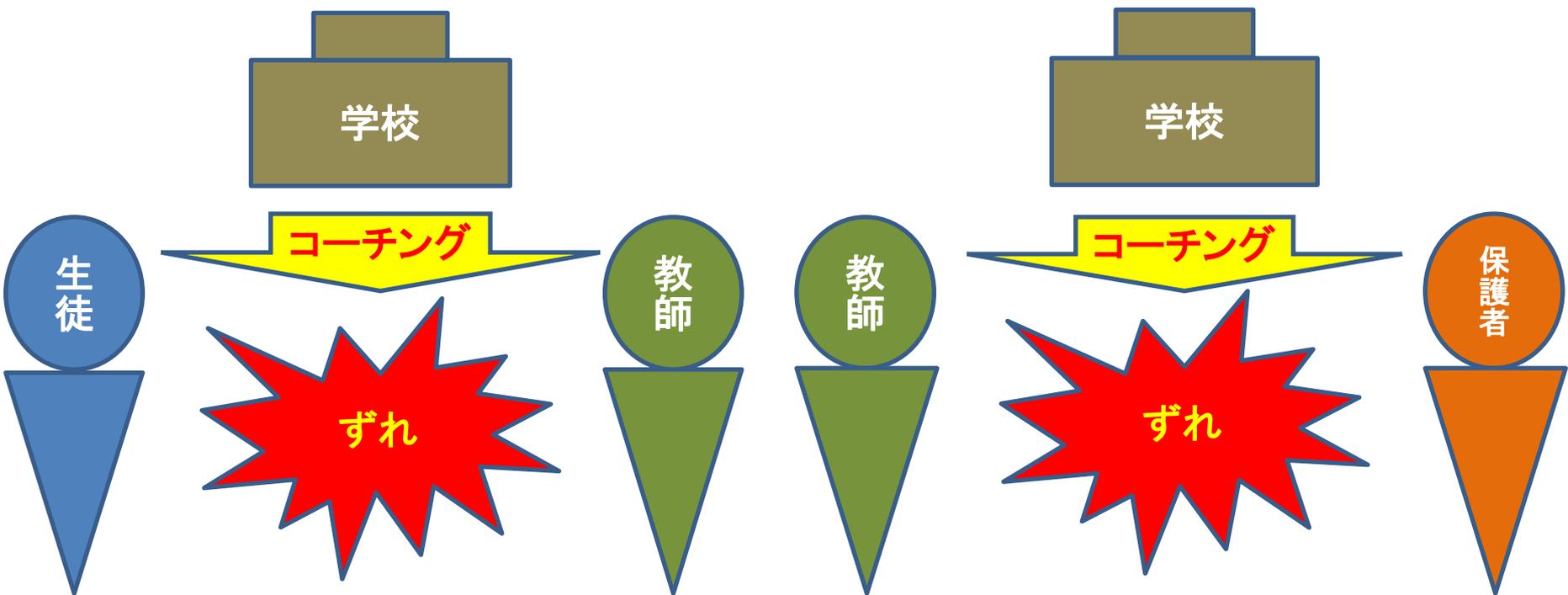


# 提言

## 例3) 生徒と生徒の間の思いのずれ



提言(具体案)



例1) 生徒・教師間の思いのずれ

例2) 教師・保護者間の思いのずれ

例: 運動部活動の時間を指定する

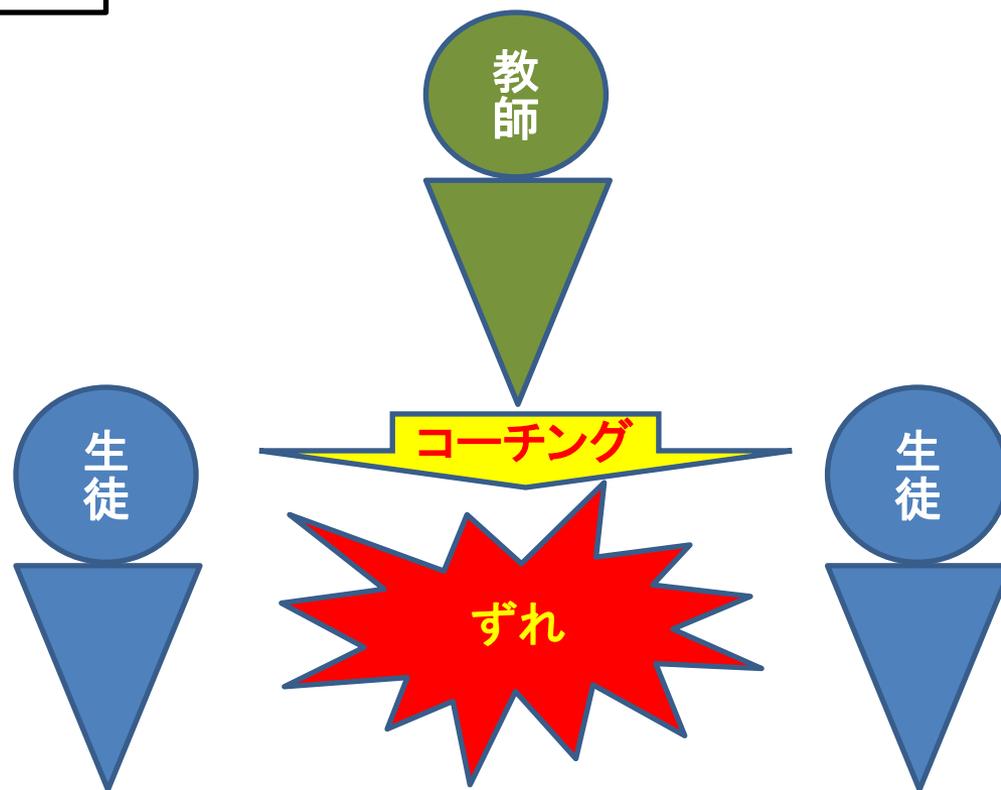
## 提言(具体案)

(方法例)

運動部活動の時間を指定する(休日設定)

教員の負担減少、生徒の学習時間の確保や  
バーンアウト防止を図るため、権限を発揮する

# 提言(具体案)



例3) 生徒と生徒の思いのずれ

例：運動部活動の種類を増やす

## 提言(具体案)

(方法例)

運動部活動の種類を増やす

体力向上部などのスポーツ種目とつながらない部活動をつくる、複数の部活動をかけもちすることができ、など多様な参加ができる方法を考える。

## 提言(具体案)

### 体力向上部

実践学校：東京都世田谷区立東深沢中学校

内容：部活動の活動時間は平日の週4日の朝の45分間だけ行い、火曜から金曜まで活動して放課後や休日、夏休みなどの長期休暇は活動しない。(持久走や腕立て伏せ、縄跳びなど)



## 参考文献

- 福岡孝純(1988)スポーツ・ビジネス—ソフト化の新しい“座標軸”— 日本経済新聞
- 公益財団法人日本中学校体育連盟(2017) 平成29年度 加盟校調査集計  
<http://www.njpa.sakura.ne.jp/kamei.html>
- 文部科学省(1997) 運動部活動の在り方に関する調査研究報告(中学生・高校生のスポーツ活動に関する調査研究協力者会議)  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/sports/001/toushin/971201.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/001/toushin/971201.htm)
- 東海林祐子(2013)『コーチングのジレンマ』ブックハウスHD
- 『教育』2017年5月号 「特集1 部活動の深い悩み」かもがわ出版
- 内田良(2017)『ブラック部活動—子供と先生の苦しみに向き合う』東洋館出版社
- 読売新聞 2015年1月31日
- 東京新聞 文部科学省調査の結果と分析2013年4月27日
- 毎日新聞2013年2月20日
- 朝日新聞2016年10月19日

ご清聴ありがとうございました。  
ございました。